

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	その他専門店 〔食品〕（経営 者）	販売量の動き	・地元での小売高は若干減少したが、首都圏向けには 活発な荷動きがみえてきた。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・景気が良い、という店が散見されるようになってきた。
		百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・前年比は若干下回っているものの、暑さにより夏物 のクリアランスが好調だったため、3か月前ほど悪い 状況ではない。
		百貨店（経営 者）	販売量の動き	・セール中心ではあるが、服飾雑貨、婦人ファッション がここしばらく好調で、あわせて紳士関連も2けた を越す伸びとなっており、食料品、中元関連の不振を カバーして推移している。
		スーパー（経営 者）	単価の動き	・既存店客数が堅調なことに加えて、単価が前年同月 を上回っている。
		スーパー（経営 者）	販売量の動き	・梅雨明け以降は好天に恵まれ、30度以上の真夏日も 連続したため、夏物商品の販売が順調であった。ま た、やや上質なものを買っているということから、客 のゆとりを感じる。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数が7%増加と好調だったが、単価は1%増、 買上点数は0.03ポイント増とやや弱い。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・気温が上がってきて、客数が増えてきている。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・季節商品が上向きになっている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・前年同月と比べると販売台数が伸びてきている。今 から繁忙期に入ることもあって期待できる数字が出て いる。サービス部門も、在庫台数はいまだ前年割れし ているが単価減を補えるような整備内容になりつつあ る。
		住関連専門店 （経営者）	販売量の動き	・当社で扱っているお盆関連用品が、前年より売上を 伸ばした。
		その他専門店 〔靴〕（経営 者）	販売量の動き	・8月は気温が高い日が続く、サンダル等の夏物商品 の消化が例年よりも進んだ。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・当月は夏休み、夏祭り、お盆などイベントの多い月 で、客の動きも多く家族連れが大半であった。他の時 期の家族連れと違い財布のひもが緩く、館内消費が良 好だった。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・前月後半からお盆期間にかけて、かなりの来客、売 上があった。同業者からも同じような話を聞いた。
	観光名所（職 員）	来客数の動き	・天候の回復とともに、団体客以外のフリー客の来場 も増えている。	
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・景気回復とはいえ人の流れが大型店に集中してい る。格差を身にしみて感じる。弱小の商店街に対抗策 はない。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・梅雨明けにより、来客数、売上は少し上向いたが、 季節商品のエアコン、夏物衣料などは時期を失し、商 店主からは「あと1週間梅雨明けが早ければ」との声 がある。なお、夏祭りの季節で、安価な女性用浴衣の 売行きが好調である。
		一般小売店〔書 籍〕（経営者）	販売量の動き	・雑誌、書籍共にヒット作が少ない。また、期待して いた夏休み時期の児童書やコミックの売行きが伸び悩 んでいる。
		一般小売店〔雑 貨〕（企画担 当）	来客数の動き	・天候によって客数はばらつきがあるが、力強さはな い。仕入価格は徐々に上がっている。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・婦人服売場は秋物がメインであるが、猛暑のため客 からは見向きもされない。一方、別会場の夏物セール は好調である。ヤング、キャリア層は秋色夏素材の商 品をプロパーで打ち出しているが、ブランドによって ばらつきがある。ミセス層はジャストシーズンを求め る人が多く、夏物商品を単品買いする人がほとんどで ある。

	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当月の業績は、前年を上回る見込みであり、特に来客数は大きく増加した。ただし、これは前年不調であった夏祭り、お盆などの期間が、本年は天候に恵まれたことが来客増の主因であり、決して悪い状況ではないが力強さは感じない。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・セールの上は8月後半になってからも勢いがあり前年比200%を超える。しかし、催事場での企画によるシャワー効果は期待ほどではなく、意外と厳しい。
	百貨店（販促担当）	お客様の様子	・前半は夏物セール商戦が好調に推移したが、後半になると、端境期企画の初秋物、晩夏物の動きは残暑のため鈍かった。季節商品は、浴衣が2けた増であったが水着は逆に苦戦を強いられた。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・客数、販売量、単価ともに前年並みで推移している。
	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・たんす在庫にない商品で、かつ、気に入った商品のみ購入する傾向は、男性ほど強くなっている。
	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・当月は季節商品、パソコンの新商品の遅れなどによるマイナスを、AV機器、白物家電でカバーしている状況で、全体的には前年と変わらない。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・ここ半年くらい、ガソリン高騰と金利上昇懸念から、軽自動車を中心とした安価で小型な車へ販売が偏る傾向が続いている。一部低金利クレジットでの販売は好調に推移している。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新車の販売では、見積を提出しても時間が掛かり、なかなか決まらない状況が続いている。車検をとる人は以前よりも増えており、11年目の車でも車検をとる人が多くなっている。
	その他専門店〔呉服〕（経営者）	販売量の動き	・新商品で単価の安いものは売れるが、高いものは厳しい。
	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・前月の天候不順の影響か、夏物は見込みよりも少なかった。後半は暑くなってきたが、売上には結び付かなかった。景気が良くなっているような実感はない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・ガソリン価格の上昇で販売数量が前年割れを続けている。特に高速道路と平場の価格差が大きく、高速道路に近い給油所の落ち込みが大きい。また、軽油の販売が落ち込んでおり、公共事業の発注の落ち込みが響いている。
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・お盆前までは比較的好調だったが、お盆以降は客の出足が鈍く、あまり変わらない。
	その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	販売量の動き	・倒産する企業もまだ多く、景気の悪い状況が続いている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、一般宴会は予算を達成するものの、レストランは低迷している。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・法人、一般企業より会合の問い合わせは順調に推移しているが、婚礼利用が伸び悩んでいるため会社全体の売上げは厳しい。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人関係は夏がボリュームゾーンであるが、思うように伸びていない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資、並びに、経費削減に関する意識に変化はない。
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・お盆の期間中は天候不順で、花火のイベントを一部中止するなどしたが、大崩れまではいかなかった。何とか計画値に並ぶところまで来たが、上向くまでにはまだ遠い。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・客の回転率が鈍化しており、2、3か月前と同様に、前年同期を下回る状況が続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・二極化の傾向が顕著になった。これまで低迷していた高級、高額商品がすんなり売れたかと思えば、中級以下の低額商品の売行きは明らかにマイナス傾向に入っている。売手側の悩み、迷いが深刻になっている。新しい形の商業不況に陥るのではないかと心配している。

	スーパー（店長）	競争相手の様子	・売上の高いお盆期間は前年実績をクリアしたが、前後の売上は前年を割っているため、今月の既存店前期比は98%になっている。8月は気温も高く夏物商品の売行きが回復したが、それでも前年並みでプラスにはならなかった。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・当月は残暑の影響が大きく、前月に売れていた初秋物の動きが止まった。暑い日が続いているため、来客数が激減している。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・天候に振り回されて厳しい状況が続いている。梅雨明けはしたが時期が遅かったため、夏物スーツの購入を我慢する客も多く、販売は不調である。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・当月は秋物の立ち上がりの時期であるが、とても暑い日が続いたため、客は秋物を見ようという気持ちにならず、かといって夏物にはもう興味がない、という状態だった。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・財布の中身はいっしょなので、この単価では販売数量が減るだけである。
	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・仕入先の酒屋の販売量も低下しているとのことである。市場でもいい魚は出ていないので、少なくともこの地方に限っての景気は停滞している。
	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は客数を維持しているが、レストラン部門は低迷している。特にお盆の時期は動きが全くなかった。
	一般レストラン（経営者）	それ以外	・景気が良くなっているというのは一部の大企業のことではないか。少なくとも夜の飲食業については、当店だけでなく周囲の店も良くなっていない。客も様々な業種の人がいるが、良くない話ばかりであり先がみえない状況である。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・梅雨が明けて急に暑くなり、個人客の動きは非常に悪くなった。あわせて、法人関係の動きは長期の休みもあり極端に少なくなった。よって、来客数は大幅にダウンしている。
	タクシー運転手	販売量の動き	・前月との比較ではさほど変わっていないので、悪くなっているという印象は薄いですが、前月の悪くなった状態を引きずっている。
	通信会社（営業担当）	単価の動き	・原油高騰に伴い、クリーニング代、冷凍食品、ガソリン等、あらゆる物価がじわりじわり上昇してきている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・景気回復に影響があると思われる夏期も、行楽シーズンでの出費のしわ寄せがくるため、美容業界では逆に不景気となる。もう少し景気回復がなされれば、余裕が出てくる。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・燃料費の増加に伴って、修理費が削減される傾向にある。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・常設展示場への来場者がほとんどなく、新規顧客がないに等しい。
悪くなっている	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・来店者数が例年よりも少なくなっている。誘客のための催事を考えなければならない。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・昨年12月より前年比マイナスの月が続いていたが、7、8月は特に落ち込みがひどい。お盆の集客も思わしくなく、例年では考えられない状況だが空室の発生した日もあった。当旅館だけではなく温泉地全体で低迷している。
企業動向関連	良くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き ・7月の長雨、日照不足の影響を心配していたが、当月は天候が回復し、桃の品質が特に良く、甘みも増したため販売価格も良かった。注文数が前年より5%程度増加した。
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・牛タンの原材料の仕入価格相場が下がってきたことから、商品の内容量を増やしたところ好評であり、販売量が増加した。
		繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・各アパレルメーカーは展示会発注を手控えていたが、売れ筋をつかみ、品ぞろえの関係からの受注が増えている。納期遅れが心配である。

	木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需給環境が改善されつつあり、収益改善がやや進む。
	輸送業（従業員）	取引先の様子	・中国向けのデジタル製品の輸出が上向いてきた。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・高温多湿のため、飲料水、冷菓、乾めん、調味料などが非常によく売れた。一品単価は下がっているが、点数は5%ほど増えた。
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品、民生機器ともに高水準にあるが、3か月前との比較では大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・地域の状況は全般的に順調に推移しており、大きな変化はない。ただし、相変わらず原材料価格の高騰が各社に影響しており、それを吸収するために変動費の削減を模索している。
	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・民間設備投資は活発であるが、公共工事が少ないこと、単価が低下していることにより受注総額は減少している。
	金融業（融資担当）	それ以外	・8月に入り天気が回復、併せて祭等のイベントによる観光客の入り込みも目立つようになり街全体が活気を帯びたが、後半以降は特段のイベント等もなく、これまでの状態に戻った。
	広告業協会（役員）	取引先の様子	・新聞、テレビ、ラジオなどのマスコミ広告は、このところ出入りはあるものの、増減は少なく推移している。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売実績が下げ止まり前年比をクリアしているが、相変わらず地元の実績が厳しい。東北の景気回復はまだまだ先である。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・得意先である住宅会社各社の受注状況は、大きな変化がなく一定に推移している。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・親会社からの受注が激減するなど厳しい状況に置かれている企業があり、中小企業の景気は良いとはいえない状況である。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折り込みチラシが2か月連続で前年同月を下回り、かつ、前月を大きく下回っている。当地域だけでなく、都市圏でも1日の折り込みが5種類に満たない日もある、と運送業者から聞くが信じられないような状況である。2紙購読していた人が1紙にするなど、財布のひもが固くなっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・ハウス栽培を行っている大規模農家は原油高を販売額で吸収できなくなっている。
	コピーサービス業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、8月は1年の中でも最も数字が悪いが、前年と比較しても販売量が減少している。企業の購入形態も本社で一括というような動きになっている。
悪くなっている			
雇用関連	良く なっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子 ・当月は企業側の事業規模拡大や移転に伴う募集が非常に多く、夏期休暇の影響など全くないほど募集は好調である。特に建設系企業の採用が積極的である。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き ・インターネットでの求人数が増えた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・平成19年3月高校卒業予定者にかかわる求人の受理状況は、7月末現在累計は対前年比7割増となっている。業種別でも製造業3割増、卸小売1.6割増、建設業9割増、宿泊業7割増など全ての業種で大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	それ以外 ・ここ2、3年求人申込のなかった事業所や、初めて求人申込をする事業所からの求人が増えており、いくらか景気が上向いていると感じられる。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き ・東京や大阪からの求人募集は相変わらず好調だが、地元からのオーダーは少なくなっている。その中では派遣会社を中心に徐々に地元からのオーダーが増えつつあり、それが一般の募集までつながれば上向くのだが、現状ではそこまで至っていない。	

	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・新聞広告の申込は業種によりばらつきがある。スーパー関連の流通は好調だが、車のディーラーや住宅関連の出稿がない。広告売上げ全般では、横ばい状態である。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者の減少傾向も一段落し、正規雇用を目指す求職者がやや増加している。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・派遣先での派遣社員の残業時間は少なく、増員の依頼もほとんどない。派遣よりもコストの安いパートやバイトの求人は堅調の様子である。どの業界、どの企業もコストに敏感で余裕は感じられない。
悪くなっている	-	-	-